

～認知症は一人で悩まず地域の集いで情報交換を～

「9月21日は認知症の日」。1994年スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会が開催されました。会議の初日であるこの日を世界アルツハイマーデーと宣言し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的としています。日本では共生社会の実現を推進するため認知症基本法が施行されたことにより、2024年から毎年9月が認知症月間、9月21日が認知症の日と定められました。以後はこの日を中心に認知症の啓発を実施しています。

今回ガラシア病院健康だよりでは、認知症の人やその家族を支える地域の取り組みに関して情報を発信させていただきます。出典:認知症の日/認知症月間 令和7年(2025)年度をもとに作成 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2024_00001.html

認知症カフェ

認知症カフェは、各地域の介護や福祉の専門家が運営する認知症について気軽に相談できる場所です。公共施設の一室やカフェの一角を利用して開催されることが多く、認知症の人やその家族、地域住民、支援に関わる人等、誰でも利用できます。早期診断後の何も支援がない「空白の期間」を満たし、認知症の人の孤立を防ぐ役割も果たしています。

また、認知症カフェ以外にも、認知症当事者による相談支援を行う「ピアサポート」や認知症の人同士が中心になって話し合い発信をする「本人ミーティング」などの取組があり、全国各地で行われています。それぞれの詳細は、お住まいの地域の高齢者福祉担当部局や地域包括支援センターなどにお尋ねください。出典:政府広報オンライン「知っておきたい認知症の基本」をもとに作成 <https://www.gov-online.go.jp/article/202501/entry-7013.html>

☞ 箕面市の取り組み(一例) ☞

ガラシア病院のある箕面市は「認知症のひとにやさしい地域づくりに向けた取り組み」として、各地区で認知症カフェを実施しています。認知症カフェとは認知症の人やその家族、医療・介護の専門職、地域住民など、誰でも自由に参加できる「集い」の場です。カフェによって活動は様々ですが、参加者同士が情報交換したり医療・介護専門職に相談することができます。困った時やご相談がある場合、箕面市にお住まいの方は地域を担当する「高齢者くらしサポート」にご相談ください。出典:みのお認知症ガイドブックをもとに作成 <https://www.city.minoh.lg.jp/kaigo/documents/minohgaidobook2.pdf>

文責:ガラシア病院健康教室委員会 ガラシア訪問看護ステーション 理学療法士 尾西 貴裕



医療法人ガラシア会

ガラシア病院

生活習慣病、各種健康診断にも対応

〒562-8567

大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14-1

TEL: 072-729-2345